

若年未婚女性のライフコース選好と実現見込みの趨勢とその学歴差

Trends in Life Course Preferences and Prospects for Realization among Young Unmarried Women and Its Educational Differences

木村裕貴 (国立社会保障・人口問題研究所)

Yuki Kimura (National Institute of Population and Social Security Research)

余田翔平 (国立社会保障・人口問題研究所)

Shohei Yoda (National Institute of Population and Social Security Research)

1. 問題の所在

1980年代以降、未婚化、結婚・出産時の就業継続率の上昇、就業中断後の再就職タイミングの早期化など、女性のライフコースは大きく変化している。こうしたライフコース変容は学歴による差異も指摘されており、近年では高学歴層ほど安定した結婚を実現しやすく、家族形成期の就業率も高いことがわかっている (Raymo & Iwasawa 2017)。

実際のライフコースにおける学歴差の拡大は、これから家族形成や労働市場参加を本格的に選択していく若年未婚女性の意識とどのような関係があるのだろうか。第二の人口転換理論は、個人の価値観・選好の変化が個人の行動の変化につながると説明する (Lesthaeghe 2010)。この説明に基づけば、とりわけ高学歴女性のライフコース選好が変化していると予測される。第二の人口転換理論が個人の選好を重視するのとは対照的に、より構造的な制約に着目する立場によれば、現代の社会的・制度的構造が個人のライフコース選好と不整合をもたらし、個人は実際の制度的制約に応じて選好を変化させる (Pedulla & Thébaud 2015)。低学歴層よりも高学歴層の方がさまざまな資源や制度にアクセスしやすいとすれば、高学歴層の方が自身の理想とするライフコースを実現できるという見込みが高くなっているかもしれない。

以上を踏まえ、本研究では若年未婚女性のライフコース選好とその実現見込みの長期的趨勢とその学歴差を明らかにする。

2. 方法

分析には、国立社会保障・人口問題研究所が実施した「出生動向基本調査」の第9回(1987年)から第16回(2021年)までのデータを用いる。本調査は、18歳以上50歳未満の独身男女を対象とする独身者調査と、50歳未満の有配偶女性を対象とする夫婦調査からなるが(第16回調査では独身者調査・夫婦調査ともに年齢上限が55歳未満に引き上げ)、本研究では独身者調査のうち18-24歳の未婚女性のデータを使用する。

主たる変数は、理想のライフコース(「あなたの理想とする人生はどのタイプですか」と、自身が現実に辿るであろうと予想するライフコース(「理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか」)である。いずれの質問項目に対しても以下の5つのライフコースが回答選択肢として提示されている——(1)「結婚せず、仕事を続ける」(非婚就業)、(2)「結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける」(DINKS)、(3)「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」(両立)、(4)「結婚し、子どもを持つが結婚あるいは出産

の機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」(再就職)，(5)「結婚し子どもを持つが，結婚あるいは出産の機会にいったん退職し，その後は仕事を持たない」(専業主婦)。

3. 結果

図1は，理想ライフコースの分布の趨勢を学歴別に示している。理想ライフコースについては，いずれの学歴でも「専業主婦」が減少し，「両立」が増加するというトレンドが認められる。ただし，1980年代後半の分布をみると，大学・大学院ではすでに「専業主婦」よりも「両立」や「再就職」の方が多かったものの，中学・高校では「専業主婦」が最も多く，「再就職」，「両立」が続く。専修・専門は中学・高校と比べて「再就職」や「両立」の割合が高い一方，短大・高専は「両立」の割合が比較的低く「再就職」の割合が高い。

図2は，理想ライフコースと予想ライフコースで同じ選択肢を選択している者の割合の趨勢を学歴別に示している。一致割合はいずれの学歴でも30～40%程度で推移している。一致割合の学歴間での差は最大で10ポイント程度で，学歴差が明確に拡大しているようにはみえない。学歴を問わず，若年未婚女性のうち60～70%程度が理想ライフコースを実現できないと見込んでいる状況に変化がないといえる。

当日は，周辺分布の変化を考慮したうえでの理想ライフコースの実現見込みの学歴差や，ライフコースパターン別の特徴について詳細に分析した結果を報告する。

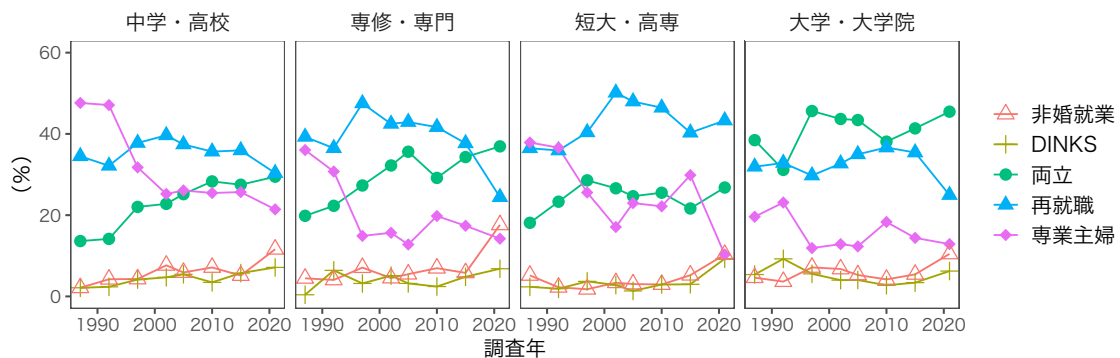


図1 学歴別にみた理想ライフコースの分布の趨勢

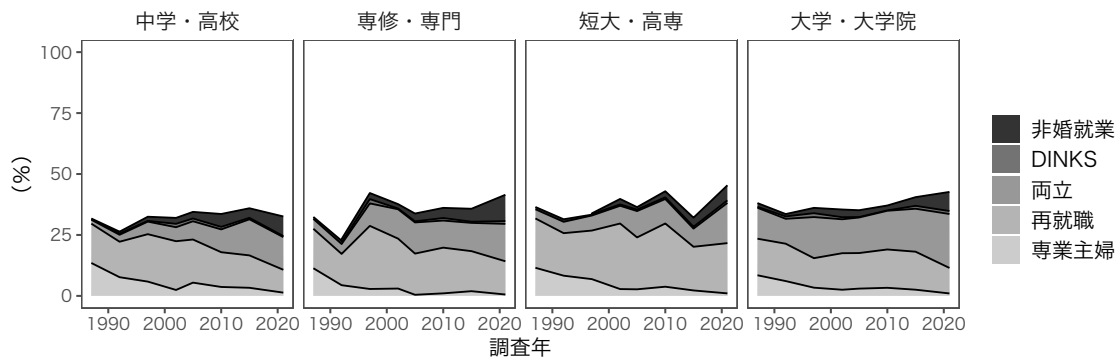


図2 学歴別にみた理想・予想ライフコースの一致割合の趨勢